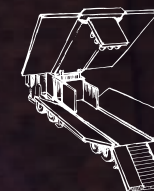


4/20
舞台車上
キャバレー
ナイト
2015

5/3
舞台車上
中上健次
ナイト
2015



YANAGI MIWA's
STAGE TRAILER
PROJECT

やなぎみわ移動舞台車
〈花鳥虹〉

移動舞台車「花鳥虹(かちょうこう)」は、美術作家・演出家のやなぎみわが台湾にて製造し日本に輸入した、野外舞台に変形するトレーラーです。昨年横浜トリエンナーレ2014で国内初お目見えし、大阪は北加賀屋MASKでのイベント参加を経て、PARASOPHIA:京都国際現代芸術祭2015にて京都公開となりました。ステージトレーラープロジェクト(STP)は、期間中に様々なイベントを行います、最終目的は野外劇の上演です。最新情報は、HPまたはFacebookで紹介していきます。STPの今後にご期待ください。

www.yanagimiwa.net [f yanagimiwa.theater](https://www.facebook.com/yanagimiwa.theater)

Kyoto
International
Festival
of
Contemporary
Culture

PARASOPHIA

やなぎみわ移動舞台車〈花鳥虹〉車上イベント案内

このフライヤーは日本新薬株式会社の協力により制作されました。

大輪の夏芙蓉の花のもとに語り、舞い、歌え！

【舞台車上・中上健次ナイト】

5月3日(日)
18:00～21:00

京都市美術館・前庭
〈入場無料〉

※雨天順延

中上健次から影響を受けたアーティストたちが集って朗読と演奏を行います。中上の軌跡を辿り、モノ語りとウタの秘密に迫る摩訶不思議なコンサート。ポールダンス、豪華ゲストによる鼎談もお楽しみに！

出演(出演順)：

細馬宏通(レクチャーと体操)

山田学(演奏と朗読)

長谷川健一 BAND(歌と演奏)

いとうせいこう(ラップ) × 船戸博史(ウッドベース)

Mecav Kotobuki(ポールダンス)

トークイベント：

いとうせいこう × 細馬宏通 × 浅田彰

司会進行：やなぎみわ

コーディネーター：長谷川健一

舞台監督：栗津一郎

照明：藤本隆行(Kinsei R&D)

音響：岩谷啓士郎

主催：PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015

企画：やなぎみわ

協賛： 日本新薬株式会社

中上健次(なかがみ・けんじ 1946～1992)：小説家。1946年、和歌山県新宮市に生まれる。1965年、和歌山県立新宮高校を卒業と同時に上京。同人雑誌「文芸首都」で執筆活動を開始。羽田空港で荷役の仕事に従事する。1976年『岬』で第74回芥川賞を受賞、戦後生まれ初の受賞者となる。長編小説『枯木灘(かれきなだ)』で、1977年第31回毎日出版文化賞、翌年同作品で第28回芸術選奨文部大臣賞新人賞受賞。『地の果て 至上の時』『日輪の翼』『讀歌』『千年の愉楽』『奇蹟』『異族』などの長編小説、『化粧』『水の女』『熊野集』『重力の都』などの短編集、紀伊半島のルポルタージュ『紀州～木の国根の国物語』や脚本など著書多数。1992年、腎臓がんのため46歳の若さで死去。

いとうせいこう：作家、クリエイター。早稲田大学法学部卒業後、出版社の編集を経て音楽、舞台、テレビなど様々な分野で活躍。1988年、小説『ノーライフキング』で作家デビュー。1999年、『ボタニカル・ライフ』で第15回講談社エッセイ賞受賞。2013年、『想像ラジオ』が第35回野間文芸新人賞を受賞した。他の著書に『ワールズ・エンド・ガーデン』、『解体屋外伝』、『ゴドーは待たれながら』(戯曲)、『文芸漫談』(奥泉光との共著、文庫化にあたり『小説の聖典』と改題)、『Back 2 Back』(佐々木中との共著)、『存在しない小説』、『鼻に挟み撃ち 他三編』などがある。

船戸博史：ウッドベース奏者。同志社大学卒業後、ジャズのベーシストとして歩み始める。世界各地を彷徨い、1988年アフリカより帰国後、ジャンルにとらわれない音楽活動を本格的に開始。『ふちがみとふなと』等多数のバンドに参加。

細馬宏通：研究者。京都大学大学院理学研究科で動物行動学を学ぶ。現在、滋賀県立大学人間文化学部教授。日常会話や協働作業における身体動作研究、視聴覚史研究を行っている。著書に『うたのしくみ』(びあ)、『ミッキーはなぜ口笛を吹くのか』(新潮選書)、『今日の「あまちゃん」から』(河出書房新社)、絵はがきの時代『浅草十二階 増補新版』(青土社)、『活動としての文と発話』『ことば・空間・身体』(共著／ひつじ書房)など。

【中上一折口体操：折口信夫の「死者の書」について、中上健次はその音韻をなぞりながら詳細な批評を行っている。「中上一折口体操」は、その彼らの思考を体を操りながらことばでたどる試みである。】

山田 学：視覚芸術家・音楽家。同志社大学英文学科卒。在学中からカメラを手に世界各地を旅し、撮影を行なった後、絵画に転向。その後、写真と絵画をふまえたイメージ制作に着手する。現在にはさらに、映像と音楽、そして言語、それらの間にある、無数の可能性の中を移動しながら、光と色、音・言葉と沈黙といったテーマをもとに、創作を続けている。5月15日には、京都にて、世界的ピアニスト、シャニ・ディリュカとの共演、彼女の音楽に、絵画・写真・映像を合わせ響かせる、コラボレーション・コンサートが開催される。【『宇津保物語』を中心とした、中上健次作品の抜粋を朗読。それとともに、自らの演奏や、ノイズミュージシャン(竹咲)からの音源、環境音等をミックスしていく。それは中上自身が、芸術・芸能の核としてとらえていた、『うつは』という磁場を、音の世界で、反射・反映させようとする試みである。】

【**長谷川健一BAND**】**長谷川健一：**ミュージシャン。CD『凍る炎』『星霜』(共にmap/comparenotes)、『震える牙・震える水』(P-VINERECORDS)、2011 年 には「FUJI ROCK FESTIVAL2011」にも出演。その他「423」、カバー集「my favorite things」などがある。2015年には、奈良を拠点に全国で活躍する3ピースロックバンドLOSTAGEとともにスプリット7インチ「僕は今ここにいる / 遠くへ/砂の街」を4月18日のRECORD STORE DAYにあわせリリースする。【Vo.G. 長谷川健一 Ba. 岩橋真平 Dr. senoo rickyでの3ピースでのバンド演奏。】

浅田彰：哲学者、批評家。京都造形芸術大学大学院芸術研究科教授、同大学院学術研究センター所長。
やなぎみわ：演出家、美術家。台湾製舞台車「花鳥虹」オーナーであり興行主。来年から「花鳥虹」にて中上健次原作「日輪の翼」の全国ツアーを予定している。京都造形芸術大学教授。

輝く舞台車上での一夜限りのキャバレー公演！夢は夜ひらく

【舞台車上・キャバレーナイト】

4月29日(水)
19:00～20:30

京都市美術館・前庭
〈入場無料〉

※雨天順延

タイワニーズキャバレーと呼ばれ、台湾では庶民に親しまれている移動舞台車。やなぎみわの演劇公演のために特別に製作、輸入された舞台車「花鳥虹」で、来年から上演される演劇公演「日輪の翼」の世界をイメージした華麗なショーが行われます。

演出：やなぎみわ
コスチュームデザイン：串野真也

出演：

Mecav Kotobuki(ポールダンス)

辻本佳(ポールダンス)

Conguero Tres Hoofers(タップダンス・演奏)

BAVAAAL(大吹き)

三木万侑加(ピアノ)

黒木陽子(朗読)

主催：やなぎみわステージトレーラープロジェクト

協力：アートスペース虹

舞台監督：栗津一郎

照明：藤本隆行(Kinsei R&D)

音響：岩谷啓士郎

串野真也：デザイナー。京都芸術デザイン専門学校ファッションデザインコース卒業後、イタリアに留学し、"Istituto MARANGONI"ミラノ校、ファッションデザインマスターコースにてディプロマを取得。帰国後、「JILA LEATHER GOODS AWARD 2007」でグランプリを受賞したことをきっかけに、「革」を中心とした靴や鞆などを展開するブランド「Masaya Kushino」をスタート。その活動は日本だけに留まらず、海外でも積極的に作品を発表し続けている。

Mecav Kotobuki(メカブ・コトブキ)：ボールバフォーマー／ボールダンスインストラクター。舞台出演、様々なバフォーマーとのコラボレーションなど、あらゆる形態のショーに出演。またダブルスボールダンスユニット&womb(あんどうむ)としてもショーを展開してきた。2013年「FUKUOKA POLE DANCE BATTLE」優勝、2014年「MISS POLE DANCE JAPAN 2014」ダブルス部門準優勝、「Pole Theatre UK 2014(ロンドン)」プロ部門pole comedyカテゴリー ファイナリスト。

辻本 佳：ダンサー。5～20歳までは柔道を学び、大学在学中にダンスを始める。2009－2013フランス、カーン国立振付センター、Company FATTOUMI LAMOULEUX「Just to dance」に参加。近年は、MuDA、Monochrome Circus、双子の未亡人のプロジェクトに参加している。

BAVAAAL(ババール)：ファイヤーバフォーマー。2010年「エロティックファイヤーガーデン」第三位受賞。ファイヤーダンスのみならず、近年は様々な表現手法に挑戦。OLの経験から普通の女性の怒りや哀しみをテーマにしたコミカルなショーや、自身の生前葬(2013年)、新婦(ババール)だけの独り結婚式(2014年)など自虐的コンセプトショーも企画。2015年4月には初のミュージカルショーで脚本・演出・主演を務める。グラフィックデザイナーとしての顔も持つ。

Conguero Tres Hoofers：世界初の楽器編成によるユニット。バンド名は「Conguero＝コンガ(打楽器)叩き」、【Tres＝ギター(の原型)】、【Hoofers＝タップダンサー(の俗語)】に由来する。EDWIN CM や NHK WORLD 等への楽曲提供やプロデュース等で活躍する渥美幸祐(Gt.)、北野武監督の映画「座頭市」やUNIQLO CMなどで話題となったSARO(Tap)、真心ブラザーズからキマグレンまでをサポートする西岡ヒロロー(Per.)によるバンドプロジェクト。2011年、1stアルバム「Classics from The parallel world.」をリリース、iTunes Music Store のジャズチャートで1位を記録。また2年連続出演となったFUJI ROCK 2011ではフジロック史上初、キッズランドに特設ステージを作りバフォーマンス、その他計4ステージに出演し、FUJIの夏を大いに沸かせた。2014年6月にはバンド初の54日間に渡る長期ヨーロッパツアーを敢行。

三木万侑加：ピアニスト、役者、音楽学部を卒業後クラシック音楽の演奏活動、劇伴や楽曲制作等の音楽家としての活動の他に、舞台や映像へ役者として参加する等ジャンルに捕らわれず様々な表現活動に邁進中。過去の参加作品にやなぎみわ 演劇作品「バノラマ～鉄道編～」、富士山アネット【The Absence of the City】、MBS制作ラジオドラマ【芽吹き的雨】(楽曲制作)等がある。

黒木陽子：俳優、大学入学とともに劇団衛星に入団。以降同劇団にて俳優として参加。2005年より、同じく衛星の女優・紙本明子とともに「ユニット美人」結成、脚本・演出を担当する。その他、子ども向け一般向けなど、コミュニケーションティーチャーとしてのワークショップも多く手がける。